

## 第 4 回 愛南町御荘地区沿岸津波対策検討委員会

### 住民の合意形成に向けた取組

#### 構 成

- |                    |       |   |
|--------------------|-------|---|
| 1. 第 3 回検討委員会の主な意見 | ..... | 1 |
| (1) 整備方針（案）について    |       |   |
| (2) 住民の合意形成について    |       |   |
| 2. 合意形成に向けた取組      | ..... | 2 |
| (1) 実施方針について       |       |   |
| (2) 合意形成の取組の概要     |       |   |
| (3) きめ細やかな説明会等について |       |   |
| (4) 住民の意向確認調査について  |       |   |

# 1 第3回検討委員会の主な意見

## (1) 整備方針(案)について

### 【委員会の意見】

#### ■ 整備方針(案) (段階的整備) について

- ・津波に対して避難時間を稼ぐことで減災につながる防潮堤を、早急に造っていただきたい。
- ・第1期整備の堤防高さは圧迫感が軽減されており、住民に受け入れられやすいと考えられる。

#### ■ ソフト対策とのバランスについて

- ・避難することが一番であり、ハード対策にあわせてソフト対策も充実すべき。
- ・避難時間と堤防の高さのバランスを取る必要がある中で、今回の整備案は住民に納得してもらいやすいものになっていると思われる。
- ・ハード対策を進めても、想定外のことが起こるかもしれない。日頃からの避難訓練等もしっかりやっていく必要がある。



### 【整備方針のとりまとめ】

本整備方針(案) (段階的整備) により、地域住民の合意形成 (意向の確認) を図り、意見を踏まえたうえで整備方針をとりまとめる。

# 1 第3回検討委員会の主な意見

## (2) 住民の合意形成について

### 【委員会の意見】

#### ■ 住民説明会等について

- ① 住民説明会では、いろいろな立場の人の意見が出ると思われるが、わかりやすい説明をお願いしたい。
- ② 若い年齢層や漁業関係者への説明も必要である。
- ③ ハード対策に加え、避難にかかるソフト対策の説明も必要である。

#### ■ 住民の意向確認調査について

- ④ 住民にわかりやすい説明資料を添付するなどの配慮をお願いしたい。
- ⑤ より多くの住民が「段階的整備」について理解してから住民意向の確認を行うことが重要である。
- ⑥ 幅広い年齢層の意向確認が必要である。



### 【住民の合意形成の実施方針】

1. 「幅広く住民に対し整備方針（案）の理解を深める。」（①②④⑤に該当）
2. 「ハード対策とともにソフト対策の重要性の理解を深める。」（③に該当）
3. 「幅広く住民に対し意向調査を実施する。」（⑥に該当）

## 2 合意形成に向けた取組

### (1) 合意形成の実施方針について

#### 1. 「幅広く住民に対し整備方針（案）の理解を深める。」（①②④⑤）

- ・幅広い年齢層の住民に、ハード対策の重要性や整備方針について理解を深めてもらうことが重要。
- ・一般の住民が理解できる（用語等をわかりやすく表現する）資料を作成する。



具体的には、

- ⇒地区ごとや中高生を対象とした「きめ細やかな説明会」を開催。（①②）
- ⇒わかりやすく、関心を高める説明資料（DVD等）の作成。（①④）
- ⇒堤防の高さをイメージできる映像（VR）の作成。（⑤）
- ⇒現地に実際の高さを表示するモデルの設置。（⑤）
- ⇒アンケート送付時に、説明会に参加できない住民等も配慮してわかりやすく読みやすい説明資料を添付。（④⑤）

## 2 合意形成に向けた取組

### 2. 「ハード対策とともにソフト対策の重要性の理解を深める。」 (③)

- ・ハード対策には限界があることから、ソフト対策の推進と住民の避難意識を高め、速やかな避難行動を促すことが重要。

具体的には、

- ⇒説明用資料やDVD等に、ハード対策の内容に加えソフト対策や避難の重要性についても掲載。(③)
- ⇒説明会にて愛南町役場が町のソフト対策について説明を実施。(③)

### 3. 「幅広く住民に対し意向調査を実施する。」 (⑥)

- ・整備方針(案)で示す堤防整備(段階的整備)に対して多くの住民の考えを確認することが重要。

具体的には、

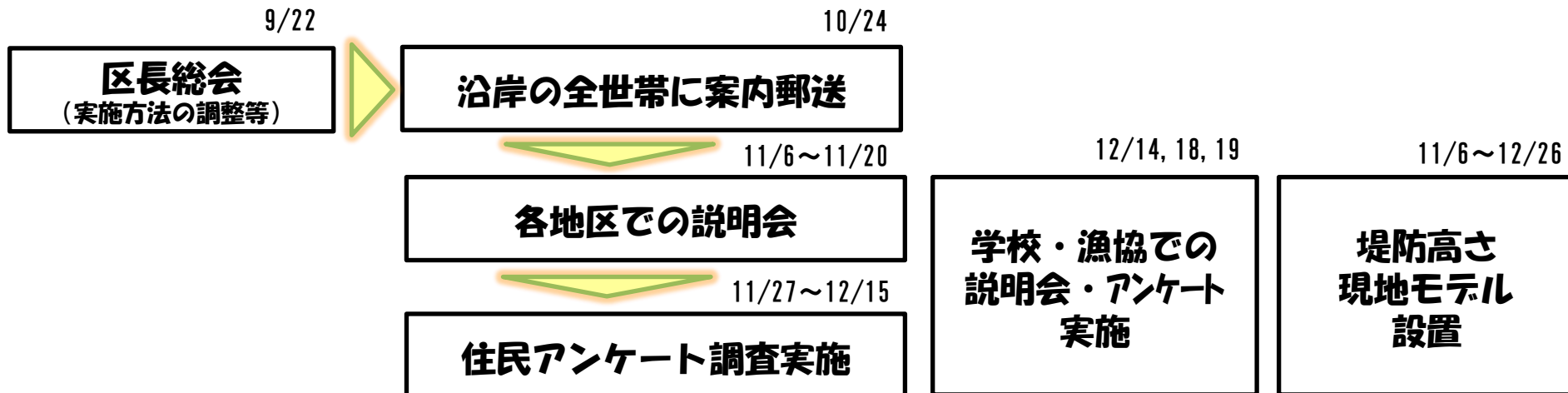
- ⇒住民だけでなく、中学生・高校生を対象としたアンケート調査の実施。
- ⇒整備に必要なと思う“堤防の高さ”と“堤防整備の進め方”を問うとともに、その選択理由についても確認。(⑥)

## 2 合意形成に向けた取組

### (2) 合意形成の取組の概要

#### 取組の流れ

- ・ 住民意向調査への協力依頼や実施方法の調整等のため、区長総会での説明を実施。
- ・ 説明会への出席者の確保や住民意向調査を実施することの周知に向け、御荘地区沿岸の全世帯（2,750世帯）に説明会の開催案内を直接郵送。
- ・ 各地区で説明会を実施し、整備方針（案）の周知を図ったうえで、住民アンケート調査を実施。
- ・ 幅広い年齢層や多様な意見の把握に向け、学校・漁協での説明会・アンケートも実施。
- ・ 堤防の高さがイメージできるよう、説明会やアンケートの実施時期にあわせ、現地で津波高さや堤防の計画高さを表示。



## 2 合意形成に向けた取組

### (3) きめ細やかな説明会の開催等

#### ■住民説明会の開催状況

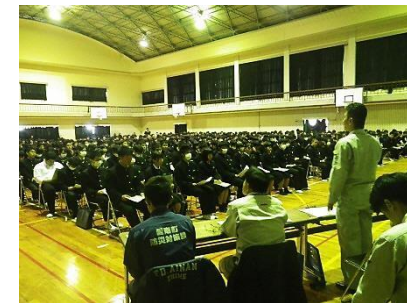
- ・整備方針(案)等について、より多くの住民の理解を深めるため10会場で説明会を14回開催した。多くの町民に出席を呼びかけるため、御荘地区沿岸の全世帯(2,750世帯)に開催案内を直接郵送するとともに、町の広報や愛南土木事務所のHPへの掲載、各区長への協力依頼、防災行政無線による放送案内等を実施した。その結果、延べ356人の出席者があった。
- ・中学校、高校、愛南漁協においても説明会を実施。合計656人が参加した。

#### ■一般住民

日時		会場
11月6日(月)	14時～	御荘文化センター
	19時～	
11月7日(火)	19時～	節崎コミュニティセンター
11月8日(水)	19時～	貝塚集会所
11月9日(木)	19時～	馬瀬集会所
11月10日(金)	19時～	長崎集会所
11月13日(月)	14時～	城辺公民館
	19時～	
11月14日(火)	19時～	深泥集会所
11月15日(水)	19時～	平山集会所
11月16日(木)	19時～	防城成川集会所
11月17日(金)	14時～	御荘文化センター
	19時～	
11月20日(月)	19時～	長洲集会所

#### ■学校・漁協

日時		対象
12月14日(木)	13時55分～	御荘中学校(2年生)
12月18日(月)	11時40分～	城辺中学校(全校生徒)
〃	14時30分～	南宇和高校(全校生徒)
12月19日(火)	17時～	愛南漁協

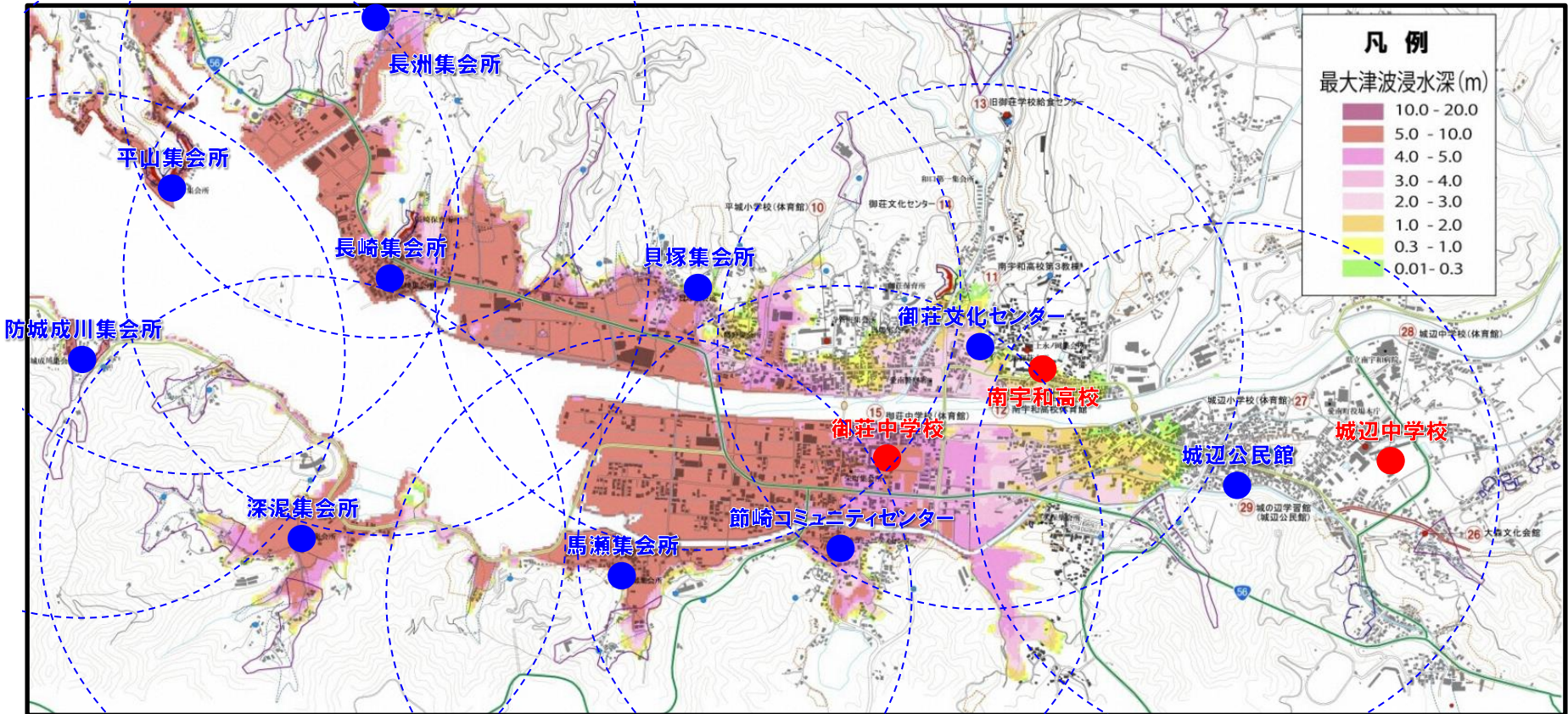


説明会の開催状況

## 2 合意形成に向けた取組

### ■参考：説明会の開催場所

- ・できるだけ多くの住民が歩いて来場できるよう、最寄りの集会所、公民館等を活用し、説明会を開催した。





# 2 合意形成に向けた取組

## ■ 説明会の議事内容

### ① 説明用DVDの上映 「御荘地区沿岸の津波対策について」

- 【DVDの構成】（約17分）
- ① 津波の脅威      ② 津波対策について      ③ 津波から命を守るために
  - ④ 見えてきた課題      ⑤ 段階的整備      ⑥ おわりに

### ② 「ソフト対策」に関する説明（愛南町役場 防災担当課）

### ③ VR（仮想現実）による堤防整備後の景観イメージの疑似体験

### ④ 質疑応答

\* 説明用DVD、説明資料等は、県ホームページに掲載

\* 聴覚障がいのある住民に配慮し、字幕版のDVDも作成



DVD（抜粋）



説明用資料（抜粋）



# 2 合意形成に向けた取組

## ■ 説明会の開催状況



10会場で14回の説明会を開催



説明会での手話通訳者の配置



学校説明会



VR（仮想現実）による疑似体験



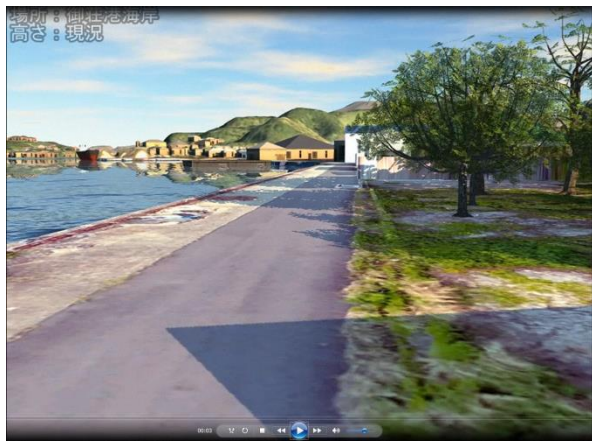
漁協説明会



開催案内の送付



現地モデルの設置



VRイメージ映像（左：「現況」 中：「第1期整備後」 右：「L1津波が乗り越えない高さ」）

## 2 合意形成に向けた取組

### ■ 整備後の堤防高さを現地表示

- ・ 第1期整備後の堤防高さがイメージできるよう、現地モデルを設置し、堤防高さ等を表示した。
- ・ 海岸ごとに確認できるように、整備対象3海岸にそれぞれ1箇所設置した。
- ・ 表示内容は  
「第1期整備後の堤防高さ」  
「L1津波の想定高さ」 の2点とした。  
(説明会、アンケート調査期間中に設置)



堤防高さの設置 (左：成瀬海岸、中左：長崎海岸、中右：御荘港海岸、右：パネル拡大図)

## 2 合意形成に向けた取組

### ■説明会における主な質疑応答

#### ■堤防の整備にあたって

- Q 堤防が整備された場合、海に出入りするためのゲートは整備されるのか。
- A ゲートの形状や設置箇所等については地域の意見も踏まえて整備することとなる。
- Q 堤防の整備によって海が見えなくなってしまうのではないか。また、津波が見えない状況になり、危険なのではないのか。
- A 第1期整備では、景観等の影響や早期効果の発現、被災後の復旧・復興などを考慮した高さとしている。場所によっては海が見えない箇所も生じるが、巨大地震が発生したときは津波を見に行くよりも、まずは避難が最優先であり、避難行動をとることをお願いしたい。
- Q 海だけでなく、川沿いにも堤防整備が必要ではないのか。
- A 河川についても浸水軽減のため、堤防のかさ上げや水門等の整備が必要であると考えている。
- Q 堤防は、説明資料のイメージ図の位置に整備されるのか。
- A 説明資料のイメージ図等は、整備後の堤防高さをイメージしやすいように示したものである。実際の整備位置は、詳細な測量、調査を行い、具体的な計画の検討にあたっては地域の意見も踏まえる必要があると考えている。

#### ■整備の時期について

- Q 第1期整備の完成までに津波災害が起きるのではないかと不安である。
- A 整備には長期間を要するが、早期に効果が発現されるよう、整備を推進することが必要であると考えている。なお、地震はいつ発生するかわからないため、常に避難意識は必要である。

## 2 合意形成に向けた取組

Q 工事の着工時期はいつか。

A まずは、住民説明会やアンケート調査等により住民の意向を確認し、整備方針の取りまとめを行う。現時点で不明だが、できる限り早く着工できるよう努めていく必要がある。

### ■整備に要する費用について

Q 整備する場合には、どの程度の事業費が必要か。また、愛南町も負担するのか。

A 現在は津波被害の軽減を図るための方針を検討している段階で、事業費は定まっておらず、町の負担額も決まっていない。

Q 堤防の整備には、莫大な費用が必要になるので、津波避難タワーなどの整備の方が費用的にも整備効果が大きいのではないのか。

A 堤防の整備により、少しでも避難時間を稼ぐことは重要だと考えている。整備方針(案)では、その避難時間の確保に加え復旧・復興に備えるために、堤防整備が必要であると考えている。

### ■避難対策について

Q 避難路や一時避難場所の確保など、ハード対策よりもソフト対策の充実を優先するべきではないのか。

A 堤防整備により、避難時間を稼ぎ、復旧・復興に備えることが必要であるが、津波被害の軽減を図るために、県と町が連携しながら、ハード対策だけでなくソフト対策を含めたあらゆる対策を並行して進める必要があると考えている。

Q 堤防のかさ上げ案しか考えていないのか。高台移転を行うことは考えられないのか。

A 南海トラフ地震の発生が切迫している中、早期に取り組むべき対策として可能な限り津波被害の軽減効果等が得られる堤防整備を提案している。高台移転については、まちの将来的なあり方などを踏まえて、地域全体で検討する必要があると考えている。

# 合意形成に向けた取組

## ■ 環境・景観等について

- Q 堤防の整備によって、牡蠣の養殖などの水産業に影響が生じるのではないのか。また干潟には絶滅危惧種が生息しているため、生物を保護する工法を検討してほしい。
- A 環境調査の結果や学識者の見解等をもとに、具体的な計画の検討にあたっては、環境に配慮する必要があると考えている。
- Q 工事が大規模かつ長期的なものになると想定されるが、工事期間に海や周辺環境への影響が出るのではないのか。
- A 環境などへの影響にも配慮した堤防整備として、早期に一定の効果が得られる段階的整備（第1期整備）を提案している。整備にあたっては、環境調査などを行い、進めていくこととなる。

## ■ 整備方針案について

- Q 御荘地区沿岸以外にも津波被害を受ける海岸がある。なぜ、御荘地区沿岸だけが整備対象となっているのか。
- A 御荘地区沿岸は、僧都川河口に平野が広がっている地形的な特徴や、公共施設や商業施設が配置され人口が集中しており、津波被害が特に大きいと想定されることから、先行して津波対策の検討を進めている。
- Q 今回の整備方針(案)は決定されたものなのか。
- A 住民説明会やアンケート調査等により住民の意向を確認し、整備方針の取りまとめを行うこととなる。

## 2 合意形成に向けた取組

### (4) 住民の意向確認調査について

■整備方針(案)に対して、幅広い年齢層の住民意向を確認するために、以下のアンケート調査を実施した。

○御荘地区沿岸住民(浸水想定区域外を含む)を対象(2,750世帯)

回収数:869票(\*漁業関係者、他地区者含む)

○中学生・高校生を対象(647名)

回収数:547票

#### 【住民意向確認調査の主な確認事項】

- ・回答者の属性
- ・津波対策の推進に関する意向
- ・堤防の必要高さに対する意向
- ・堤防整備の進め方に対する意向
- ・その他(自由意見等)

■アンケート調査の実施にあたり、住民説明会で使用した資料を添付し、説明会に出席できなかった方にも整備方針(案)を理解して回答できるよう配慮した。

■説明会に使用した資料、DVD、VRを県のホームページに掲載。

■アンケートとあわせて、ホームページで意見の募集を実施。(意見なし)

※アンケートの結果については、資料1-2を参照。